

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・「お客様に対し正確、丁寧、誠実に対応する」等を経営理念として掲げ、社内に掲示している。また、日頃から代表理事が会議等の際に口頭で周知を図っている。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・理事が各種法令関係研修に参加し、その成果を社内で共有している。 ・現場作業場においては、責任者が法令遵守の周知、徹底を図っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・事業実施前に代表理事が不公正な競争行為がないかチェックしている。また、社員にも不公正な取引がないよう文書で記録を残すよう周知徹底している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・代表理事をトップに業務責任を明確にし組織的に仕事を進めている。また、業務活動が社会、環境に及ぼすプラス面、マイナス面もあらかじめ把握して対応している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・理事が知的財産保護に係る研修会に参加するなど、その重要性を認識しており、社内研修会を実施している。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・理事を個人情報保護管理責任者として任命している。個人情報は施錠し厳重に一括管理している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・現場職人任せにせず、日頃から理事等が現場に赴き、顧客との意思疎通を図っている。また、顧客の声を大切にするためクレーム等があれば理事が相談窓口になり迅速に対応している。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・女性、高齢者、外国人等が業務で関わったことがあるが、代表理事を中心に日頃から会議、挨拶等で差別の禁止について周知徹底を図っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生講習会に積極的に参加している。また、業務車両内はもとより整理整頓を徹底している。さらに安全で衛生的な職場環境を保つため日頃からチェックし、必要に応じて改善・修正に取り組んでいる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態によって差を設けることなく、同一の労働に対しては同一の賃金で対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業は原則としてしないようにしている。また、有給休暇取得を奨励している。なお、社員の仕事と生活の充実を応援する「熊本県よかボス企業」に認定されている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社員の資格取得のため講習、受験料等の必要経費の支援を行っている。また、資格取得手当の支給も行うなど社員の能力開発、教育訓練には積極的に取り組んでいる。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断の経費補助を行っている。また、現場でラジオ体操を行うなど健康経営に取り組んでいる。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・障がい者の雇用経験があるが、障がい者雇用の際は、事前にその障がいに関する勉強会を社内で実施するなど、適切に対応できる職場環境整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・zoomを有効活用するとともに、時差出勤、会議室の窓開け等の徹底、消毒液を社員各自に持たせるなど感染症対策に取り組んでいる。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・アスベストなど有害廃棄物等は、専門業者に委託して適切処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・日頃からこまめに消灯したり、省エネタイプの空調機器を導入するなど省エネに取り組んでいる。また、簡易計算シートを活用しエネルギー使用量を算出、把握することで、さらなる削減に取り組んでいる。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・省エネタイプの空調機器を導入するなど省エネに取り組んでいる。また、簡易計算シートを用いてCO2の排出量を算出、把握し、さらなる削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・社内でレジ袋を使わないようにするため、社内に買い物バッグを常備している。また、社内の緑化を図るため観葉植物等を7鉢配置している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペットボトルを減らすため水筒持参に取り組んでいる。また再生用紙の利用、裏紙をメモ用紙として活用、その他グリーン購入に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・日頃から代表理事より社員に対し節水の呼びかけを行っている。また、車の洗浄などではホースは使わずバケツで対応するなど節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙を利用している。また、紙以外もできるだけグリーン購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・社内に観葉植物等を中心に7鉢設置するなど、職場環境における緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・省エネタイプの高効率の空調機器を導入するなど、エネルギー効率の見直しに常に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・社内でレジ袋を使わないようにするため、社内に買い物バッグを常備している。また、社内でのストロー利用を廃止している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：一般社団法人熊本県建物環境改善協会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。

・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

分類

No.

チェック項目

基本

チャレン
ジ

具体的な取組み
(※事業者が記載する欄)

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

製品・サービス

37

【製品・サービスの安全性と品質】
・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。

●

・顧客へ工事内容、品質保証について、きちんと説明している。また、クレーム等については、理事が相談窓口となり対応している。

3.9

9

12.4

38

【ユニバーサルデザイン】
・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。

●

・社内の玄関口をフラット化するなど、高齢者や障がい者をはじめ誰もが利用しやすい環境整備に取り組んでいる。

9.1

10

11.7

17

39

【地域資源】
・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。

●

・地域の仕事は、できる限り地域の職人等に依頼、活用するなど、地域・地場にこだわって仕事を進めている。また、贈答品等は地域産品の購入・活用に取り組んでいる。

2.3
2.4

7.3

8

9

11.a

12.3

13

14

15

17

40

【木質化の取組み】
・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。

●

7

12.2

13.1

15

41

【社会課題解決】
・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。

●

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

42

【攻めの農林水産業】
・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。

●

2.3
2.4

8.2

9.2
9.4

11.a

12.2

14

15

17

持続可能な社会・地方創生

43

【地域への参画】
・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。

●

・地域の障がい者イベントである「おとなりマルシェ事業」へ協賛したり、地域の神社に灯籠を奉献するなど地域事業、行事への参画に取り組んでいる。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

44

【防災、減災、レジリエンス(自助)】
・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。

●

・日頃からハザードマップを確認するとともに、非常用の水の確保、蓄電池、ソーラーパネルなど、災害対策用備品等を常備している。また、災害時の集合場所、避難場所等をあらかじめ決め、対応している。

4

11.5

13.1

16

45

【防災、減災、レジリエンス(共助)】
・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。

●

・社員が消防団に加入し活動している。また、何かあれば会社と共に地域防災活動に従事できるよう防災用品を常備している。

1.5

3

4

10.2

11.5

13.1

16

17

46

【防災関連商品の開発・販売】
・防災関連商品の開発・販売を促進している。

●

9

11

12

13.1

47

【SDGsの普及啓発】
・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。

●

・熊本県のSDGs申請登録内容を社内で研修会を実施するなどSDGsの浸透を図っている。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

48

【インターンシップ等の受入れ】
・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。

●

4

8.6

10.2

17

49

【若者の地元定着等】
・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。

●

4.4

8.5
8.6

17

50

【農林水産業の担い手確保】
・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。

●

2

4.3
4.4
4.5

8.6

10.2

12

13

14

15

17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。

・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3